

# 環境経営

DOWAグループでは、環境保全への取り組みを企業経営における重要な課題と位置付け、「環境基本方針」を制定し、この方針をグループすべての事業活動における基本的な考え方として、グループ全体で環境経営を推進しています。

当社の環境活動は、本業を通じた環境・社会への取り組みと、自社の事業活動における環境負荷を低減させることの両立、つまり環境保全活動と同時に経済的価値の創出を行うことと考えています。

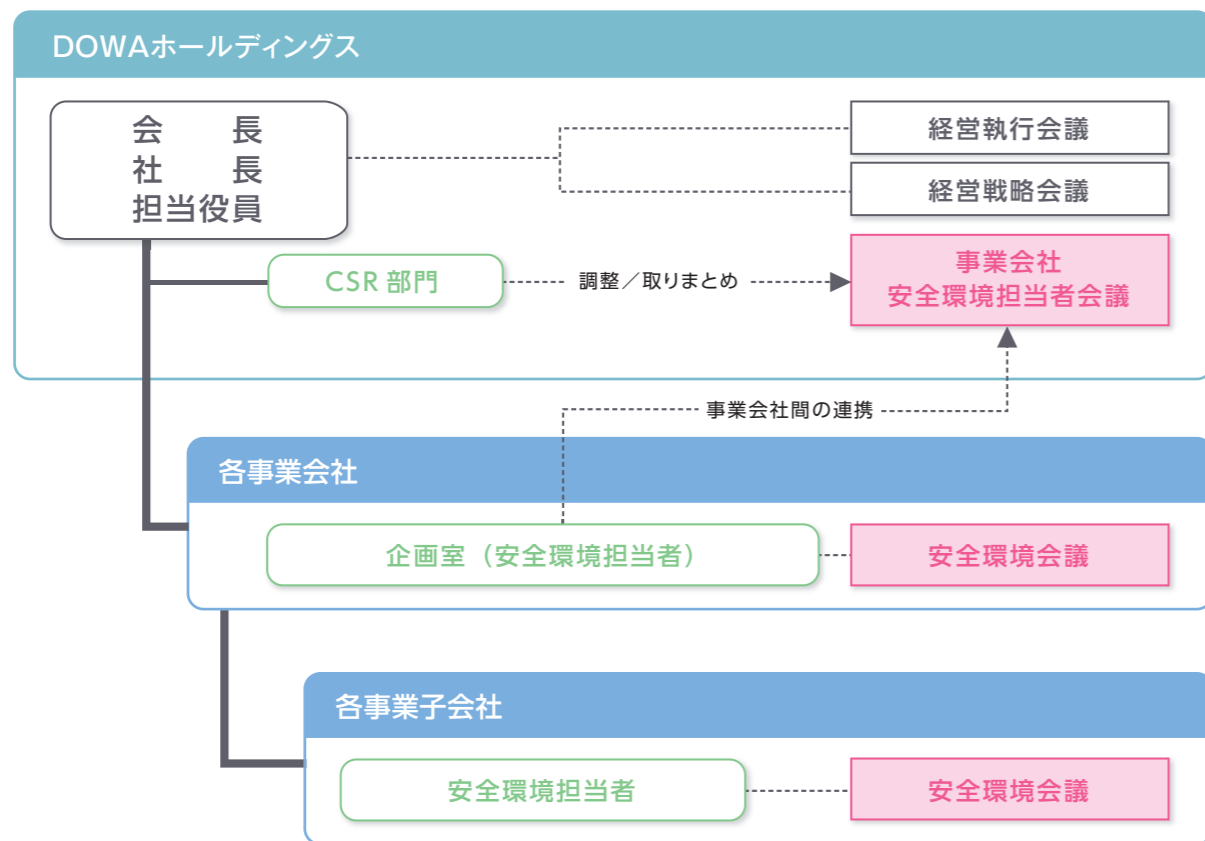
環境基本方針 [http://www.dowa-csr.jp/about/csr\\_policy.html](http://www.dowa-csr.jp/about/csr_policy.html)

## 環境管理体制

DOWAグループの環境管理活動は、持株会社である「DOWAホールディングス」のCSR部門と、環境保全活動を行う

各事業会社の企画室が連携して行っています。ホールディングスは各事業会社間の調整・取りまとめを行うとともに、DOWA

グループ全体の環境管理・コンプライアンス管理を行っています。



## 環境管理システム導入状況

DOWAグループでは、主な国内生産拠点34事業所、海外5事業所でISO14001を取得しています。また、同和通運では、トラック運送業における環境保全推進のためのグリーン経営認証を取得しています。

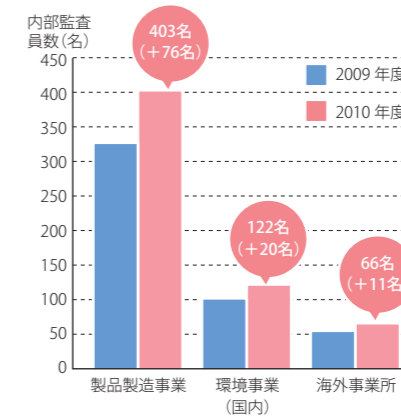
※各事業所のISO14001の取得状況については、Web版CSR報告書に掲載されています。

<http://www.dowa-csr.jp/index.html>

## 環境監査の実施

環境管理の適切な実施のために、定期的に内部監査と外部監査を実施しています。内部監査では、客観性と環境マネジメントシステムの理解を深めるため、自部門以外の監査を実施するクロスチェックにも取り組んでいます。また、内部監査員育成講習を行い、内部監査員の育成、増員を行っています。

〈ISO内部監査員数〉



## 環境教育・啓発

DOWAグループでは、環境マネジメントシステム(EMS)教育に積極的に取り組むことによって、社員の環境意識向上と環境負荷低減のための意識・力量の強化を図っています。

ISO14001審査員研修や公害防止管理者受験対策講習を中心に、その他エネルギー管理士研修、特別管理産業廃棄物管理者講習など、それぞれの事業所において積極的に環境教育を行っています。

た取引先を対象にした環境教育プログラムも実施しています。

2010年度の環境教育の延べ参加者数は7,202名でした。総教育時間は11,256時間でした。

〈類型別環境教育時間数〉

事業	環境教育類型							総計
	経営陣・部長級以上の管理職対象の研修	社員の環境に係る教育プログラム	取引先を対象にした環境教育プログラム	環境対策の専門家(有資格者)育成	規制動向や自社活動についての情報システム	環境に関する社員意識調査	その他	
総計	394	3,048	2,266	1,210	4,124	4	210	11,256

単位:時間

## 啓発の取り組み

DOWAグループでは、従業員一人ひとりが環境に対する知識と理解を深め、自発的に取り組むことが必要と考え、CSR部門を中心にさまざまな啓発活動を行っています。

2010年度は、新入社員を対象とするCSR教育プログラム(⇒P.48)や中堅社員を対象とするマテリアリティ検討会の開催(⇒P.19)、また社内報を通じて、地球温暖化や生物多様性など当社に関わりのある環境・社会問題について情報提供を行っています。

2011年度は、社内にCSR専用のイントラサイトを開設する予定です。CSR関連のニュース、用語解説や各職場の環境活動のデータ、取り組みの共有など、社

員にとって身近な内容による意識啓発を続け、さらにCSRと環境保全の意識を高めていきます。



社内報 DOCOM